

e-Boardの活用 その1 CADデータ共有

e-Boardに物件名を入れた箱を用意し、そこにeE-CADデータを保存する手順を解説します。

【CADデータ共有のメリット】

- ・作図途中のCADデータをe-Boardに保存して、別のパソコンで作業の続きができます。
- データを持ち歩かずに自宅でも作業出来るので、作業効率がUPします。
- ・過去の図面も物件情報と一緒にすぐに引き出せます。
- 検索して引っぱり出せるから、急な問い合わせや、アフターフォローも瞬時に対応出来ます。

(1)-1



(1) CADデータをe-Boardに保存する方法

(1)-1 e-Boardを開く
O7Viewerからもしくはブラウザでe-Boardを開きます。

(1)-2



(2)-2 物件箱を作る
「ホーム」、「物件」、「新しい箱をつくる」をクリックします。
物件名 (お客様の名前) を入力し「作成する」をクリックします。
一番上の「新しい箱をつくる」をクリックします。

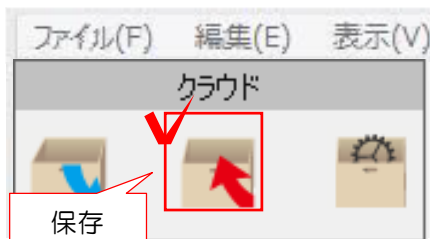
(1)-3



画面の下の方にあります。
見えない場合はスクロールして下さい。

(1)-3 必要な物件の情報を入力し、画面下の新規登録をクリックします。

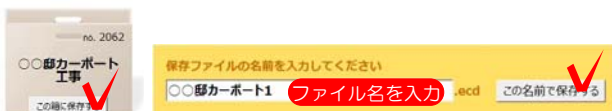
(1)-4



(1)-4 e-Boardに保存したいCAD図面データを開きます。
画面左上のクラウドの保存ボタンをクリックします。

または
「ファイル」メニュー「e-Board」
「e-Boardに保存」から保存も出来ます。

(1)-5



(1)-5 保存する物件箱を選び、CADデータの名前を入力して保存をします。

(2)-1



(2)-2



(2)-3



(2) CADデータをe-Boardから開く方法

(2)-1 OTCADを新規で開きます。

画面左上のクラウドの開くボタンをクリックします。

または

「ファイル」メニュー「e-Board」
「e-Boardから開く」をクリックします。

(2)-2 保存した物件箱を選び、保存されたファイルの「開く」をクリックします。

(2)-3 CAD図面データが開きます。



【注意！！】

自動保存はされません。必ずパソコンに名前を付けて保存をしてから作業して下さい。
作業終了後、再度e-Boardに保存しましょう。

e-Boardの活用 その2 CAD画像データ共有

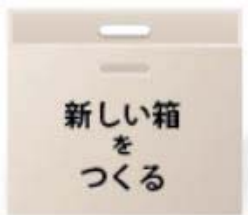
e-Boardに物件名を入れた箱を用意し、そこにCAD画像データを保存する手順を解説します。

【CAD画像データ共有のメリット】

- ・パース画像をe-Boardに保存して、打合せの時にiPadなどのタブレット端末で見せることができます。
→ペーパーレスで図面を見せられますので経費削減や図面の流用を防ぐことができます。
- ・最新のパース画像を顧客情報と一緒にいつでもどこでもスタッフ、協力業者で共有できます。
→完成イメージは現場ですぐに確認できるので施工時のミスを防ぐことができます。

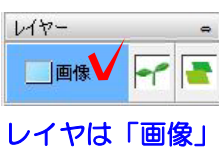
(1) CAD画像データ共有の仕方

(1)-1



(1)-1 CAD画像を保存する物件箱を作成しておきます。

(1)-2



(1)-2 保存したい画像のあるCADデータを開きます。

【画像レイヤ】で保存したいパース画像をクリックして選択しておきます。

※選択できない場合は、注釈レイヤ・図枠レイヤを確認して下さい。

(1)-3

ファイルメニュー>e-Board



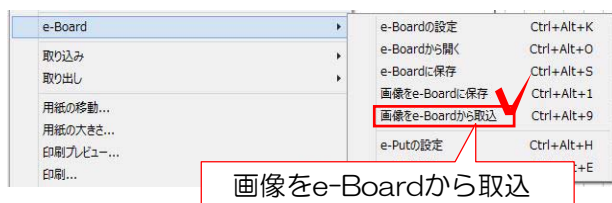
(1)-3 「ファイル」メニュー「e-Board」
「画像をe-Boardに保存」をクリックします。

(1)-4




(1)-4 保存する物件箱を選び、CAD画像データの名前を入力して保存をします。

【CAD画像を取り込む場合】



「ファイル」メニュー「e-Board」
「画像をe-Boardから取込」をクリックします。

 CAD画像の取込の場合は「画像レイヤ」に取り込みされます。